

応用物理学会

第68回春季学術講演会シンポジウム 放射線分科会

「イオンビーム分析の最前線と展望」

技術進展と装置のシステム化により、学術研究のみならず産業界で導入が進みつつある「イオンビーム分析」！ その開発状況と今後の展望を議論します。

2021 3.17(水) 13:30-16:55 会場：オンライン開催

招待講演

土屋 文 | 名城大学

「飛行時間型反跳粒子検出法を用いたリチウム電池内の
リチウムイオン移動その場観察」

齋藤 正裕 | 東レリサーチセンター

「イオンビームを用いたリチウムイオン電池用電極材料、
固体電解質の評価」

富田 成夫 | 筑波大学

「透過ERDAによるアルミニウム中の水素3次元計測」

高橋 浩之 | 東京大学

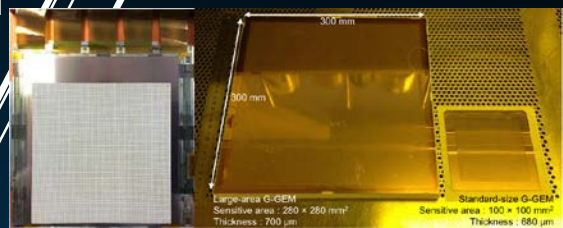
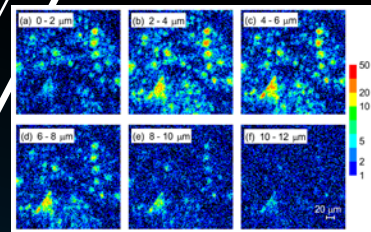
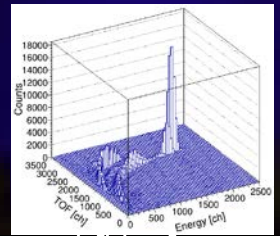
「イオンビーム分析のための最新の放射線検出器」

松山 成男 | 東北大学

「サブマイクロンイオンビーム分析装置
の開発と応用」

小林 知洋 | 理化学研究所

「小型陽子線加速器を用いた中性子源開発
と材料分析への応用」



世話人 ■ 土田 秀次 (京都大学) ■ 笹 公和 (筑波大学) ■ 吉原 有里 (日立製作所)
問い合わせ先 ■ tsuchida@nucleng.kyoto-u.ac.jp